

# 【今後はどうなる??】

香川県においては、新たな新型コロナウイルスの感染者も発生しておらず、街では緩やかに営業を開始しているお店が増えている状況です。先週の土日に商店街を歩いてみましたが少しずつ人が増えてきているように感じました。油断はできませんが、気持ちは前向きに歩んでいきたいと思えます。

さて、

今回は新たな感染者が発生せずともコロナ禍による不動産に対する影響について記載します。

## 【生活防衛意識の高まり】

景気が上向いてきている状況（気分も上向き）に比べ、「将来的な不安」を感じるが多くなりました。「最低限必要なものは何か」を考える傾向にあり、以下のことが考えられます。

- ・ 背伸びをした買い物はしない。
- ・ 「家賃以下で購入できる」不動産を求める
- ・ 低価格帯の不動産の売買件数が増える。
- ・ 高額物件は売れ残る（価格が下がる）
- ・ 不動産の現金化が進む→供給が増える
- ・ 新築だけでなく中古物件も含めて検討する
- ・ 広い土地ではなく適度な大きさの土地を選ぶ
- ・ 自己資金を手元に置いておく などなど・・・



「購入者の気持ち」に変化が表れ始めました。

不動産の価格には、人口増減・金利・購入マインド、災害リスク、隣家の利用状況、周辺環境、用途地域、道路付状況等様々な要因が影響します。

暫くの間は、購入者のマインド低下、換金処分の増加から需給バランスが供給過多になることが予想されます。

一方、不動産は「一点もの」です。各々の不動産に合った活用を考え、運用をすることが必要です。そのお手伝いを私達が担い、お客様に喜んでもらえることを使命に日々取り組んでいます。不動産についてのご相談は、是非あなぶき不動産流通にお任せ下さい。スタッフ一同皆様のご連絡を心よりお待ちしております。

以上